

BRIDGETTE MAYER GALLERY

# HONEY

EACHLIFE STYLE MAGAZIN  
NEKO MOOK 23

## Beach Girls in Tokyo

TWINS in KNIT

Handmade Brand  
from California

So Healthy! SURFFOOD

海を感じるテーブルウェア

SUP & YOGA TOUR  
in New Caledonia

Book in Book

**mama** HONEY

Stella McCartney  
-Mama I Love You

Surf Moms

To be myself... A to Z

スタイルのあるママたちの肖像

# SURE DAYZ

'70s Inspired

709 Walnut Street 1st Floor Philadelphia PA 19106 tel 215 413 8893 fax 215 413 2283  
email [bmayer@bridgettemayergallery.com](mailto:bmayer@bridgettemayergallery.com) [www.bridgettemayergallery.com](http://www.bridgettemayergallery.com)



# BRIDGETTE MAYER GALLERY

Moms' Lifestyle in Southern California  
Surf Moms

アマダのママ友のひとりでもある、アーティスト・サーファーのジュリー。アートの創作活動だけでなく昨年からはクロージング・ブランドSwim With Meを展開し、子育てとの両立に忙しい。「妊娠後もサーフィンにはしていたけど、途中からお腹が大きくなりすぎて、ボディサーフィンや泳ぐほうが多くなった。妊娠中に海のなかにいるのってとても心地いいよ。海のなかが私の居場所って感じだった。息子のフランキーを生む前日にも1マイルくらい泳いだわ」

産後6週間で医師から許可を得てまたサーフィンとオーシャンスイムを再開。海に戻れて新たな力をもらえたとジュリー

ーはいう。フランキーも生後3ヶ月で泳ぎ始めた。お腹のなかにいたときから母親が海で泳いでいたせいか、彼はまったく海を怖がる様子がない。歩けるようになったいまは、ビーチにいると勝手に大好きな海に向かって突進していくので、逆にちょっと心配なくらい。

子どもが生まれてからは明らかに以前とは生活のスケジュールが変わった。仕事の時間も創作活動もサーフィンも、いままでのように納得いくまで取り組むことはできない。

「サーフィンする時間が限られているいま、自分がサーファーであることに改めて感謝している。以前ほどサーフィンができ

ないけど、逆に本当に海が大好きなんだってわかった。とくに育児、家事、仕事をしたあとのサーフィンは、まさにメデイテーションね。パドルアウトして1本乗って戻ってくるだけでも最高。そのたったの20分が自分への贈り物なの」

仕事にしてもサーフィンにしてもジュリーが自分のことをできるのは、フランキーがお昼寝しているあいだかベビシッターが見てくれているあいだ。しかし限られた時間内で集中し専心し、より効率的にやるべきことをこなせるようになった。自分自身を管理し、ライフスタイルのなかで母親、アーティスト、仕事のバランスをとれていることが、とても幸



mama HONEY  
116

## 02

ママだから感じる女性のアイデンティティ

## Julie Goldstein

出産後も自らのクリエイティビティに従い創作活動を続けるジュリー。以前のように夫婦いっしょにサーフィンすることは少なくなったが、それでもいまサーファーとして、女性として、ママとして、より大きな幸せと喜びを感じている。

1.ジュリーが海から上がってくるのを待っていたフランキー。海を怖がらない彼はママに抱かれて波打ち際で遊ぶのが大好き。いまは海の水や砂や鹽に慣れさせている時期 2.バックヤードで家族団らんのひととき。フランキーが三輪車にも乗るようになったから目が離せない 3.自宅には海をテーマにしたジュリーの版画の大作がたくさん飾られている。ママになっても働く女性として、アーティストとしてのアイデンティティを失わず、創作を続けている 4.以前はボードだけだったが、いまはもう片方の腕に愛息を抱えて海に行く。サーフママは嬉しいのだ



# BRIDGETTE MAYER GALLERY

Moms' Lifestyle in Southern California  
Surf Moms

ジュリー・ゴールドスタイン



1975年生まれ。ニュージャージー州沿岸の島でアーティストのキャリアをスタート。2009年から南カリフォルニアに移住、その後も多くのブランドとコラボする。2014年Swim With Meをローンチ。2013年9月、フランキーを産出。

5. 何にでも好奇心旺盛なフランキー。窓辺で外の景色を見ても飽きることがない。6. ママ室のロビー。リマ・ガレットとサーフィンへ。サーフボードにベビー、さまざまなアイテムをすべて抱えてビーチへ繰り出す。7. 木版画のアーティストとして知られるジュリーだが、ソーイングやドローイングも得意とする。スタジオの壁にはそうした創作をもとにした、クローゼット・ブランドSwim With Meのアイデアが満載だ。8. 母親になってから創った木版のアート。子どもを抱えサーフする。ママにサーフママが象徴的に描かれている。彼女のアイデンティティを表現したものは、9. 夫のマークは南カリフォルニアでは名の知れたクリエイティブ・ディレクター。職業柄フランキーの成長をつねにスナップしている。10. 海に入る直前まではママ。ベビーを夫に預けた瞬間から、サーファーになる。11. ビーチではテントを張って時間の許す限りサーフィンしたりおしゃべりしたりして過ごす。仕事に家事に育児に忙しいママ同士、ストレスが溜まらないよう、井戸端会議も重要な時間なのだ。



せだということに気付いた。「女性は出産後、仕事を辞めて育児中心の生活になりがち。でも私はクリエイティブな分野に自分のエネルギーを注ぎたい。そうすることで女性のアイデンティティにフォーカスしたいと思っている。子どもができて精神的にも肉体的にも人生もすべてが変わったけど、それもポジティブに創作に活かしている。去年はマ

マがベビーとサーフィンしているシリーズの作品も制作したのよ」ママ友たちとの交流もジュリーにとっては大切。アマンダとはSeaとのコラボが実現した。またジュリーのアートワークとコラボした日本製のカスタム・ウエットスーツをみんなお揃いでオーダーしたり、互いのビジネスを認めあい、楽しみながらサポートし合っている。いま

では子連れで、ビーチはもちろん美術館や動物園などにみんなで出かける企画を考え、交流を深めるようになった。交代でサーフィンしたり、ストレスを溜めないために話を聞きあったり……。「もちろん夫たちも手伝ってくれているけど、私たちの関係ってすごくユニークだと思う。サーフィンや海を通じたママたちのコミュニティという点でね」

mamaHONEY